

2026年9月29日開催

AI・ロボティクスの将来を展望するイベント

Robotics NEXT Tokyo 2026

協賛のご案内



Robotics NEXT Tokyo とは

ロボットの世界に大きな変化が訪れようとしています。
Physical AI/Embodied AIに代表される大規模言語モデルのロボットへの適用、世界で勃興するヒューマノイドのスタートアップなど、これまでにない動きが技術とビジネスの両面で起きつつあります。本イベントではそうした変化の最前線にいる方々にご登壇いただき、ロボット技術の将来を展望します。

ロボット技術の将来を占うには、企業の現場で何が求められているのか、その問題意識を知ることも重要です。そこで本イベントでは、さまざまな業種・分野における企業現場でのロボット導入事例をご紹介しますセッションもご用意いたします。

技術の最先端を眺めていただきつつ、ロボット導入現場の現状についても概観いただくことで、ご来場者の方々にロボット技術の将来動向を幅広く、かつ深くつかんでいただくことを目的として開催いたします。

プログラム委員長 進藤智則(日経Robotics編集長)



開催テーマ

これまでロボットのビジネスというと、工場などにおける産業用ロボットが主体でした。しかし、そうしたロボット産業の姿が大きく変化し、工場以外の多様な領域・分野にロボットが広がる可能性が出てきています。

そして、ロボットを多様な分野・用途に広げる上で欠かせないのが、ソフトウェア、特にAI技術です。今後のロボット技術の趨勢を決めるのは、何よりもAI技術だといえるでしょう。本イベントでは、Physical AIやEmbodied AIなどと呼ばれるロボット向けAI技術を中心テーマとします。

ロボット技術の進化は、ソフトウェア技術とハードウェア技術を両輪とします。AI技術の劇的な進歩によって、ハードウェア技術の魅力がさらに引き出され、新産業・新サービスの開発を促進するでしょう。

※Physical AI、Embodied AIとは、「ロボットを物理的に動かし、制御するためのAI」のことです。



Physical AIやEmbodied AIなどと呼ばれるロボット向けAI技術は、日経Robotics、日経クロステックでも注目の技術として多数紹介しております。



図6 箱を移動させる作業を自律で行うDigit (写真: Agility Robotics社)



図1 学習データを自分で大量に集めて環境向けにユーザー市場を開拓する
IX Technologiesが開発中の humanoid の人型ロボット。大数の学習データによる機械学習で、Inditexなどのリアルタイムにロボットを動かすことを目指す。写真: IX Technologies



図1 ついに人間なレベルから駆け出したロボットAI
及第の移動でロボットAIが家庭から出る見込み。カズに代わって利に置き、1番ずつ進むという一歩の動きも、人間の介入なしに完全自律で実現できる。グーグルのロボットAIの機械学習が進展して実現したPhysical Intelligenceによる革新的な成果といえる。写真: Physical Intelligence開発チームが提供



図1 ついにGeminiをロボット用にfine-tuningして登場
グーグルが自社の最先端大規模モデル大規模言語モデル [Gemini] をロボット用にfine-tuningし、ロボット実機に適用した。写真: グーグルのYouTube動画より



図2 極限での運動性もテスト
共同開発者のFactorial Roboticsが1階に設置されたコースを駆け、近接センサーやカメラなどもテストしている。



図1 大規模言語モデルが高度な動作を制御する時代に
大規模言語モデルは、高度な動作を制御するようになっているが、今度はついにロボットの世界でも実現するようになっている。写真: グーグル



2026年 開催概要

名称 :Robotics NEXT Tokyo 2026

テーマ : Physical AIやEmbodied AIなどロボット向けAI技術の最前線からロボット技術の将来を展望する。

会期 :2026年9月29日(火)

会場 :東京国際フォーラム ホールB-5予定

主催 :日経Robotics、日経クロステック、日経ビジネス

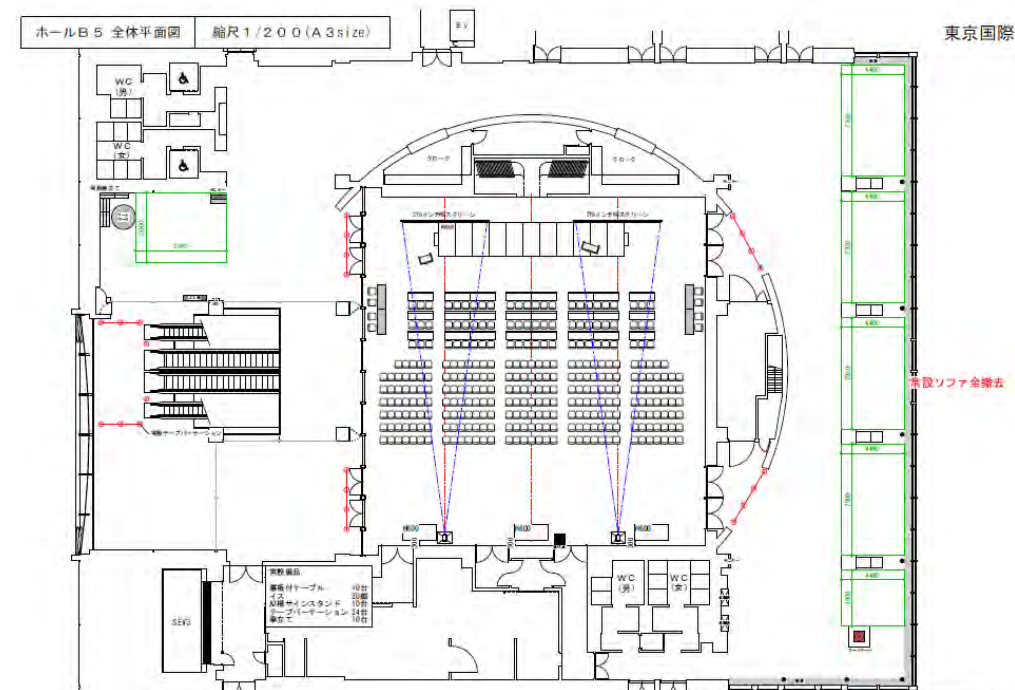
参加人数:リアル会場300名(予定)+アーカイブオンライン配信

受講料:無料(事前登録制)

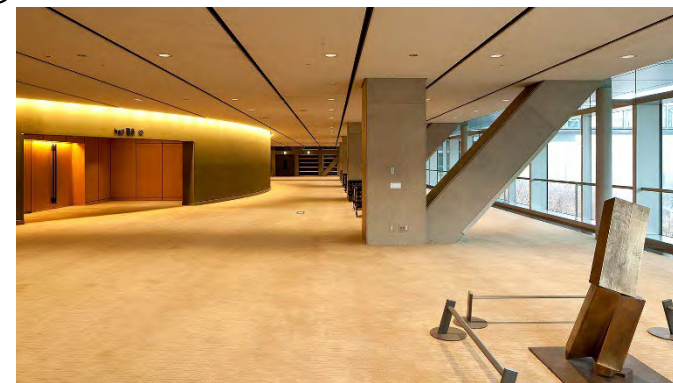
参加対象:企業経営幹部の方、経営企画部門の方、ロボットとシステムの開発者、AI技術者、
ロボットの新規事業を企画している方、ロボットのユーザーの方

※本イベントは日経クロステックNEXT東京2026併催イベントです。

東京国際フォーラム ホールB-5

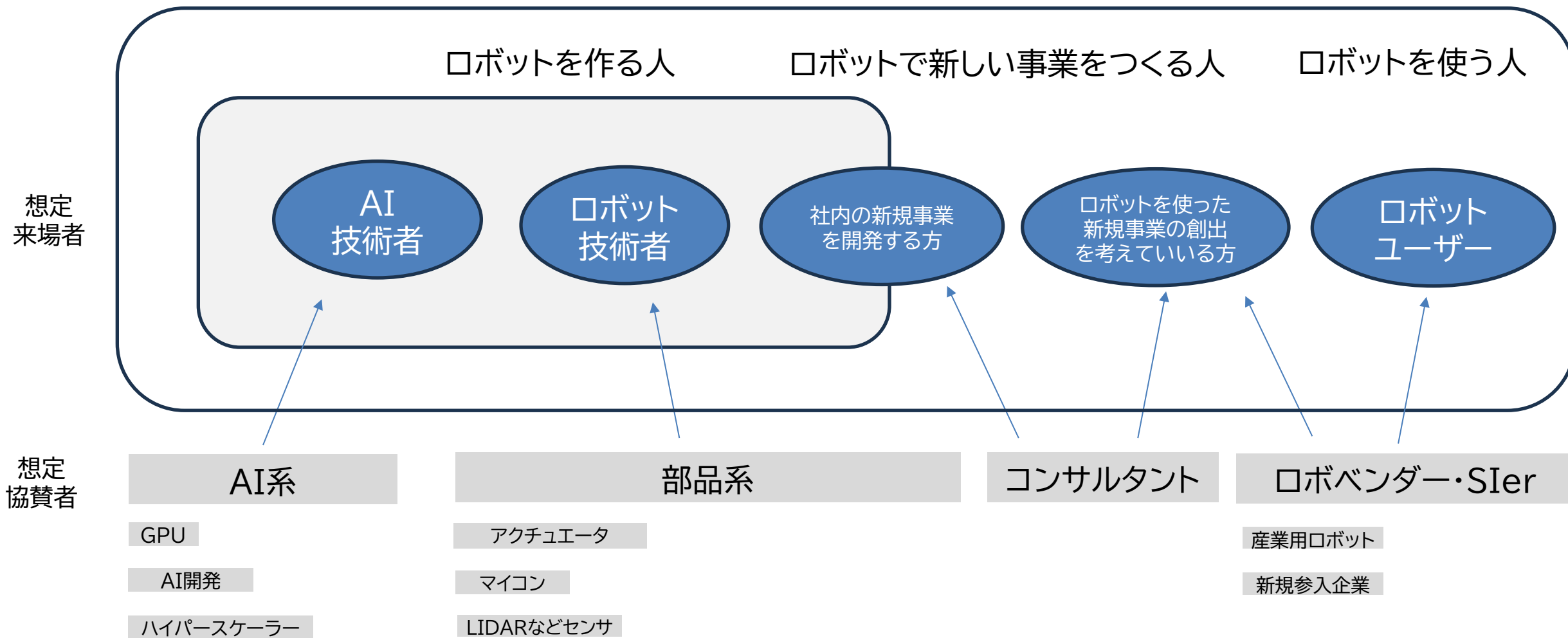


使用イメージ



ホワイエ

想定来場者と想定協賛社



プログラム案

現在、AI/ロボティクスの最前線にいる方々にご登壇いただきロボット技術の将来を展望するための出演交渉をしております。

※ここに挙げた候補は、あくまでも講演候補のイメージをお示ししたものです。

必ずしも出演を保証するものではありません。

(基調講演候補)

- ・ 米Physical Intelligence Research Scientist Ashwin Balakrishna氏
同社の最新のフィジカルAI技術(VLA)である「 $\pi 0.7$ 」について話していただく予定
- ・ Noetra（ノエトラ、旧社名・日本AI基盤モデル開発）

3800億のフィジカルAIの国プロNoetraがいよいよ始動



米Physical Intelligence
Ashwin Balakrishna氏 Research Scientist

Physical Intelligenceにて汎用的な知能を持つロボットの開発に取り組むリサーチサイエンティスト。以前はGoogle DeepMindのGemini Roboticsチームでシニアリサーチサイエンティストとして勤務していた経歴を持つ。



Noetra(ノエトラ)
丹波 廣寅 氏 代表取締役社長
元SB Intuitions社長

(主催講演候補)

実ビジネスにおける最前線にいる方々にご登壇いただく予定です。

※必ずしもすべての出演を保証するものではありません。都合により変更になる場合もあります。

(ヒューマノイド)

- ・ヒューマノイドを手掛ける東大発スタートアップ Highlanders 創業者 増岡宏哉氏
- ・安川電機グループの早大発ヒューマノイド企業 東京ロボティクス 創業者 坂本義弘氏
- ・自動運転EVベンチャー「Turing(チューリング)」元CTOがヒューマノイドで企業 30億円調達のアトム

(小売業での事例)

- ・コンビニで飲料品出しをするロボットを展開 セブンイレブンとヒューマノイドも実証へ Telexistence CTO 佐野元紀氏

プログラムイメージ(プログラムは暫定です。変更になる可能性もあります。)

		9月29日	展示
9:30~10:10	40分	基調講演	ホワイエ展示および 日経クロステックNEXT 展示会場内展示
10:15~10:45	30分	プラチナ協賛講演①	
10:50~11:20	30分	プラチナ協賛講演②	
11:20~13:00	100分	休憩・展示見学	
13:00~13:30	30分	主催講演(1)	
13:35~14:05	30分	プラチナ協賛講演③	
14:10~14:40	30分	主催講演(2)	
14:45~15:15	30分	プラチナ協賛講演④	
15:15~15:35	20分	休憩・展示見学	
15:35~16:05	30分	主催講演(3)	
16:10~16:25	15分	スポンサー講演⑤	
16:30~16:45	15分	スポンサー講演⑥	
16:50~17:20	30分	主催講演(4)	

協賛プラン(プラチナ)

<プラチナパートナー> 協賛金:600万円

- ・特別協賛講演30分
- ・告知サイト、会場でのロゴ露出
- ・幕間でCF動画放映(3分以内)
- ・事前登録者リスト提供(リアル+アーカイブ配信合計500件想定)
- ・日経クロステック、日経ビジネス電子版に貴社の取り組みを別途取材して記事体広告を4週間掲載、および「日経ビジネス」「日経ものづくり」に見開き2P記事体広告を掲載(定価約1,000万円相当)
- ・ホワイエでの展示
- ・クロステックNEXT会場内の「パッケージブース1コマ提供」(55万円相当)

協賛プラン(ゴールド)

<ゴールドパートナー> 協賛金:350万円

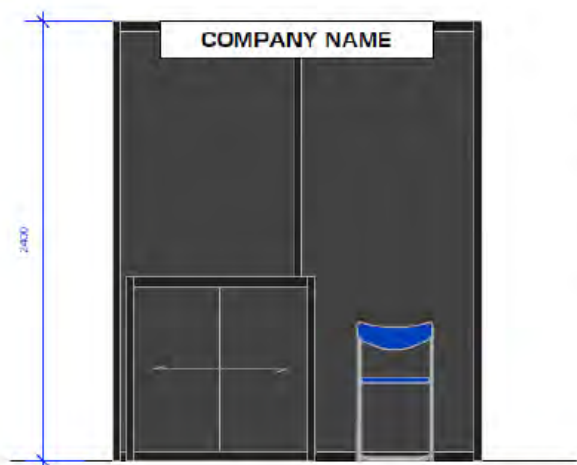
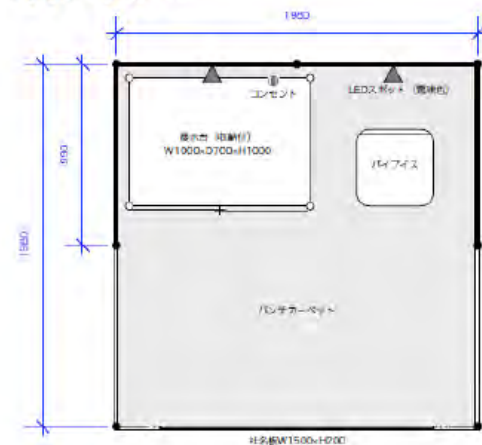
- ・15分ショートピッチ
- ・告知サイト、会場でのロゴ露出
- ・幕間でCF動画放映(3分以内)
- ・事前登録者リスト提供(リアル+アーカイブ配信合計250件想定)
- ・日経クロステック、日経ビジネス電子版に貴社の取り組みを別途取材して記事体広告を4週間掲載(定価450万円相当)
- ・ホワイエでの展示
- ・クロステックNEXT会場内の「パッケージブース1コマ※提供」(55万円相当)

※ブース仕様はP.12をご参照ください。

※パッケージブースを特別料金で追加することも可能です(P.13参照)。ご相談ください。

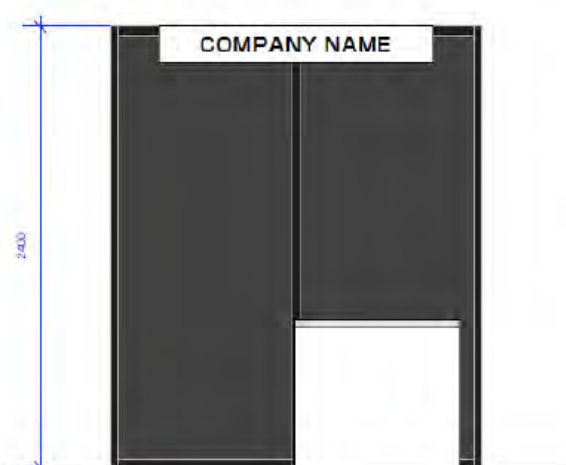
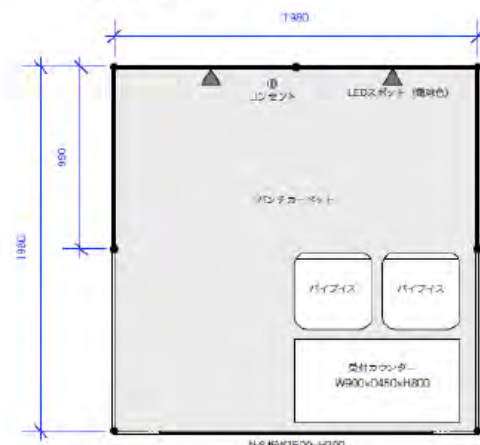
パッケージブース 1小間 備品タイプ

<Aタイプ>



壁面：H2400 黒
 展示台：W1000×D700×H1000（収納付）
 備品：パイプイス×1脚
 照明：LEDスポット ×2灯
 電源：コンセント（2口）×1ヶ
 社名板：W1500×H200ゴシック体
 床：パンチカーペット

<Bタイプ>



壁面：H2400 黒
 備品：パイプイス×2脚
 受付カウンター：W900×D450×H800
 照明：LEDスポット ×2灯
 電源：コンセント（2口）×1ヶ
 社名板：W1500×H200ゴシック体
 床：パンチカーペット

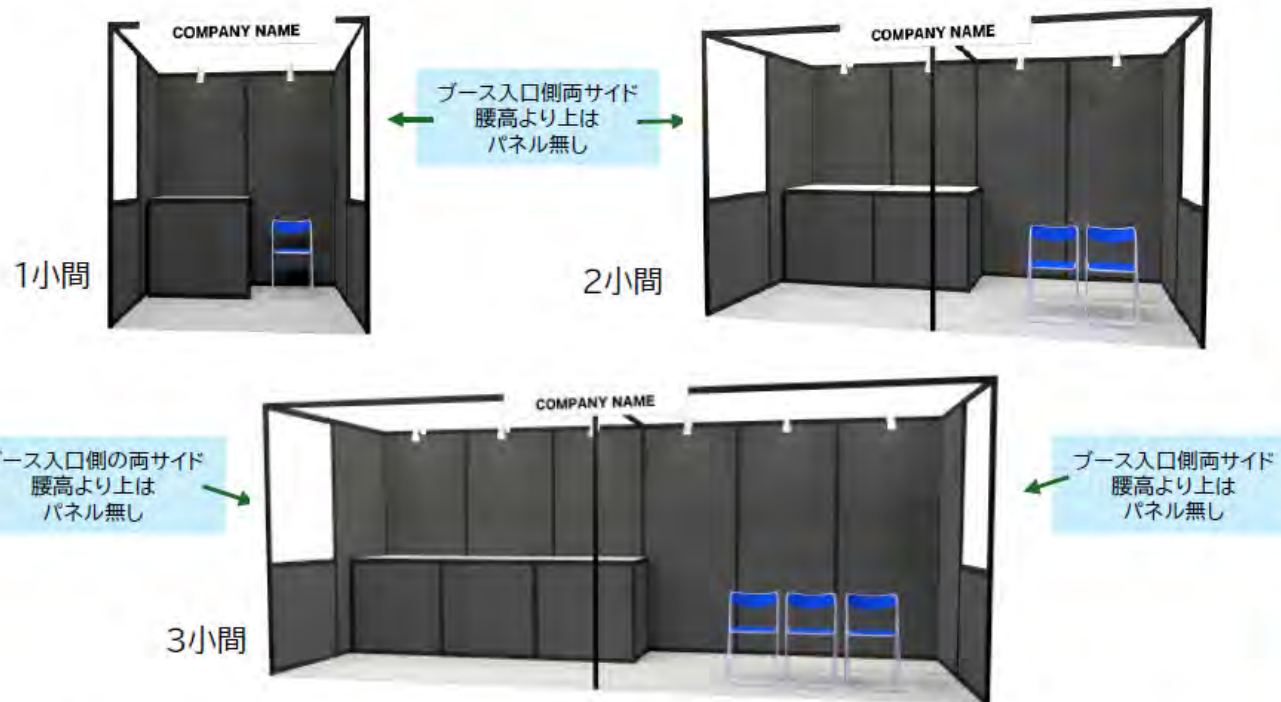
展示ブース リニューアル

パッケージブースの部材色をブラックに変更し、落ち着いた雰囲気演出。またブース入口側のサイドパネルを腰高サイズに変更することで、外から見たブース内の視認性を向上するとともに、パッケージブースエリアに開放感をもたらして居心地の良い空間づくりを図ります。

ポイント

★ブース入口側のサイドパネルを腰高にし、外から見た際のブース内の視認性と開放感が向上

<パッケージブースのイメージ>



小間料金（消費税別）

本企画追加オプション特別料金

1小間	¥ 550,000 ⇒ ¥ 400,000
2小間	¥ 1,100,000 ⇒ ¥ 750,000
3小間	¥ 1,650,000 ⇒ 応相談

パッケージブースの仕様(1小間出展の場合)

- 専用スペース 間口2000mm×奥行2000mm
- 社名表示 社名板/W1500×H200 ゴシック体
- 壁面 H2400mm 黒(背面、背面側サイドパネル)
H1000mm 黒(ブース入口側のサイドパネル)
- 照明 LEDスポット10W×2灯
- コンセント 2口コンセント×2ヶ(合計500Wまで)
- 備品 選択するタイプにより異なります。(次ページ以降参照)

ブースでの来場者対応人員について

会場内の混雑緩和、回遊性向上のため、ご対応スタッフの人員配置は、**展示ブース1小間あたり2～3ポスト**を推奨しています。
こちらについては、別途ご案内(19ページ)もあわせてご確認ください。

※PC、モニタは、レンタルまたはお持ち込みをお願いします。説明パネルの取り付けはサポートします。

※ブース追加装飾をご希望の場合は別途資料をご用意しております。詳細は事務局までお問い合わせください。

スケジュール(仮)

協賛申込締切…… 2026年7月31日

講演情報締切…… 2026年7月31日(※インフォメーションシート締切)

事前登録開始…… 2026年8月中旬予定

イベント開催…… 2026年9月29日(火)

インフォメーションシート(仮)

Robotics NEXT Tokyo 2026		
【インフォメーションシート A】 7月31日（金）までにご提出ください。		
<今後のスケジュール>		
●以下の情報を公式サイトで公開し、事前申込受付を開始いたします。		
●提出期限までにご提出をお願いいたします。公式サイト情報は随時修正可能です。		
※情報の修正につきましては、更新作業の都合上、ご連絡をいただいてから公開するまでにお時間を頂戴する場合があります。ご了承ください。		
提出先:決まり次第ご連絡いたします。		
Robotics NEXT Tokyo 2025 セミナー事務局【担当：決まり次第ご連絡いたします。】		
		※黄色の部分は、選択肢よりお選びください。
提出事項		貴社記入欄
公式サイトで 公開する 講師・講演情報	講演日時	※決定次第ご連絡いたします。
	講演タイトル ※40文字以内	
	講演概要 ※150文字以内	
	会社名	
	部署および役職	
	講師名	
	プロフィール ※150文字以内	
	非公開	講師名よみがな ※当日アナウンスのためご記入ください
講師E-mail		
当日の緊急連絡先 ※携帯電話など		
提出物について	講師写真 有無（選択ください）	
事務局から ご連絡する際の ご担当者連絡先	会社名 ※講師の方と同じ場合には、同上とご記入ください。	
	部署および役職	
	連絡先担当者名	
	E-mail	
	電話番号	
	当日の緊急連絡先（携帯電話など）	
セミナー受講者リスト納品先： 全項目記入必須です。	納品先会社名 (ご協賛社に限ります)	
	部署および役職	
	担当者名	
	E-mail ※共有アドレスにはお送りできません。 必ず送付ご担当者様の個人アドレスをご記入ください。	
※登録者のリストを後日貴社にお引き渡し いたしますので、納品先を正確にご記入く ださい。 ※宛先は1件のみご記入ください。 ※ご協賛社のご担当者をご指定ください （広告会社には納品できません）。		
貴社のプライバシーポリシー	貴社のプライバシーポリシーのリンク先 URL	

個人情報取り扱いに関するルール

日経BPでは顧客情報の提供にあたり、以下の内容を遵守していただくことを前提といたします。是非、ご確認いただきますようお願い申し上げます。

1.顧客情報の範囲

提供する顧客情報は、「氏名」「勤務先会社名」「勤務先部署名・役職名」「勤務先郵便番号」「勤務先(または自宅)住所」「勤務先(または自宅)電話番号」「電子メールアドレス」「業種など」の登録された情報のなかで貴社が希望する項目とします。「業種など」はイベント単位で異なる場合がありますので、事前に担当者までお問い合わせください。

2.顧客情報の提供方法

顧客情報は「日経BP リードジェン支援システム」を使用してご提供いたします。データの取得方法などは貴社ご担当者様宛に弊社からメールでご案内いたします。

問い合わせ先:日経BP リード・サポートセンター(E-mail:lgsc10@nikkeibp.co.jp)

3.顧客情報の利用目的

提供した顧客情報は、その元となった貴社主催または協賛セミナーの内容に関連した、貴社製品／サービスのご案内に限定してご利用ください。

4.顧客情報の利用方法

提供した顧客情報を元に、最初に顧客に連絡を取る際には、「提供した顧客情報の元となった貴社主催または協賛のイベント名」「貴社名」「貴社の連絡先」「顧客情報の変更・削除および情報提供停止の方法」を必ず明示してください。

5.提供した顧客情報の管理責任について

提供した顧客情報は「個人情報の保護に関する法律」などに基づいて貴社の責任において管理・運用願います。万が一、事故などで顧客または貴社に損害が生じた場合、弊社では一切の責任を負いかねます。

前回(2025年10月)開催実績



584名

事前登録者数584名(会期2週間前で満員御礼)

279名

当日出席者279名



【前回2025年開催概要】

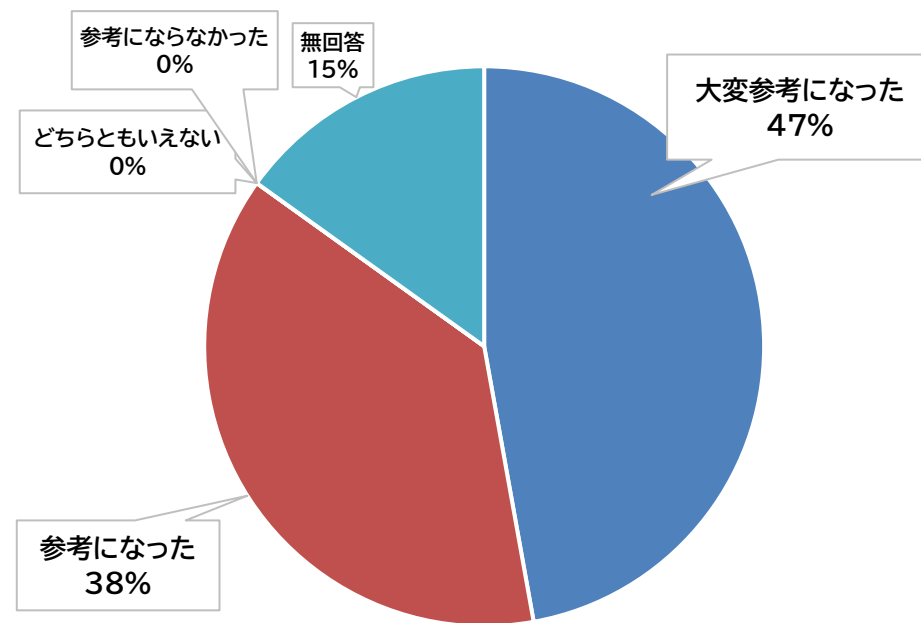
日 時 : 2025年10月16日(木)
会 場 : 東京国際フォーラム ホールB5 (ホワイエにて協賛社のロボット展示)
主 催 : 日経Robotics、日経クロステック、日経ビジネス
協 賛 : デロイトトーマツ グループ、PwCコンサルティング、FastLabel、
ブリヂストン、ugo
参 加 料 : 無料 (事前登録制)

前回(2025年10月)開催実績



85%

参加者の85%が参考になったと回答



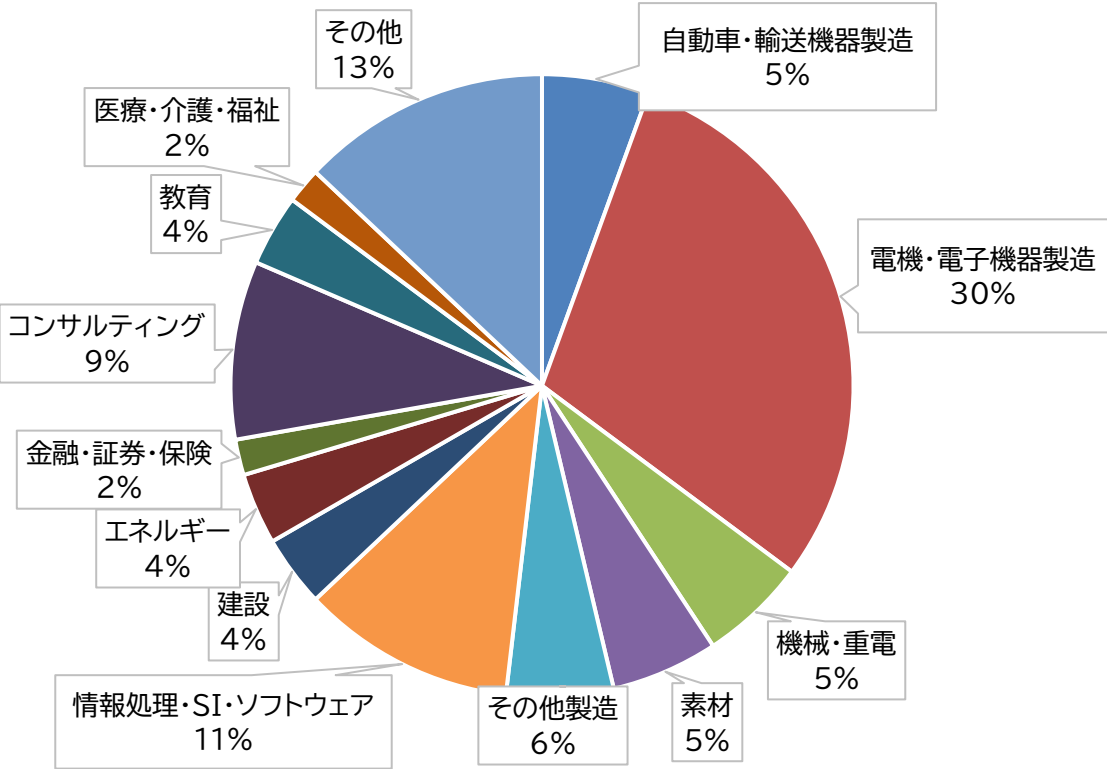
来場者アンケートより (N=53)



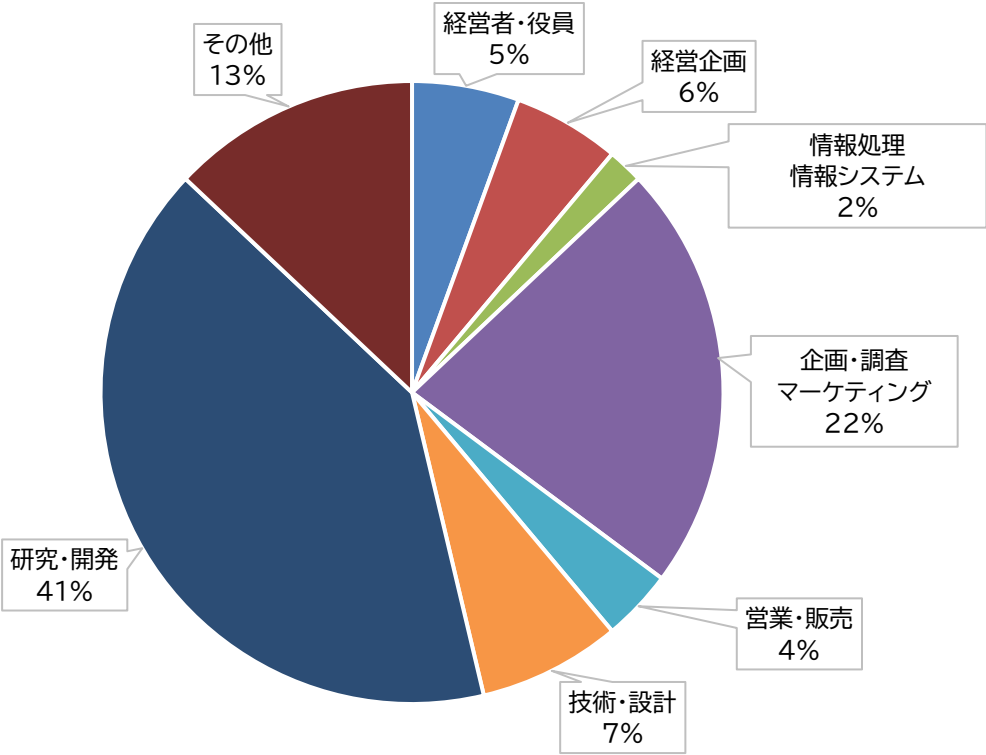
前回(2025年10月)開催実績

来場者属性

【業種】 製造業が51%、多岐にわたる業種が参加 【職種】 研究・開発が41%、経営者・役員・経営企画が11%



来場者アンケートより (N=53)

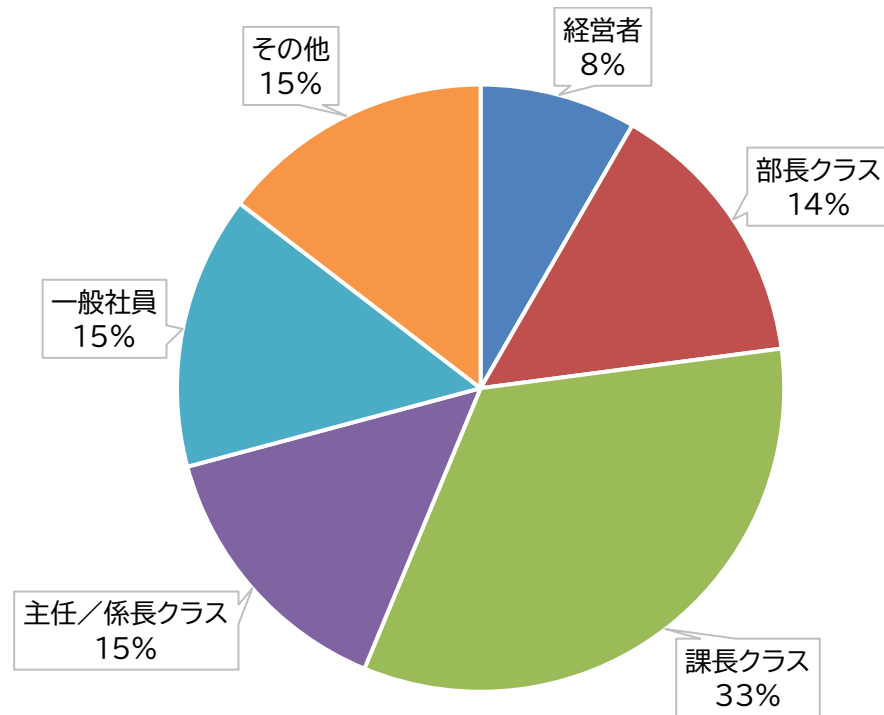


来場者アンケートより (N=53)

前回(2025年10月)開催実績

来場者属性

【役職】 経営者が8%、部長以上が22%



来場者アンケートより (N=53)

前回(2025年10月)開催実績

基調講演



Agility Robotics
Co-Founder & Chief Robot Officer Jonathan Hurst 氏
ヒューマノイドロボット:物流から家庭へ Physical AIへの道のりを読み解く



Preferred Networks
共同創業者 代表取締役 最高技術責任者 岡野原 大輔 氏
AIの進化とロボティクスへの影響

基調講演には米Agility Robotics 共同創業者兼Chief Robot OfficerのJonathan Hurst 氏、Preferred Networks共同創業者 代表取締役 最高技術責任者の岡野原 大輔氏がAI(人工知能)とロボティクスの進化を語った。

前回(2025年10月)開催実績

特別講演



北海道電力
次世代エネルギー部 情報技術グループ 主任 鈴木 章一郎 氏
火力発電所における自動巡視点検ロボットの導入について



アステラス製薬
CMCディベロップメント 原薬研究所長
つくばバイオ研究センター長 山口 秀人 氏
ロボットとAIが切り拓く細胞医療製品の製造革新



AIロボット協会(AIRoA)
CTO / 東京大学松尾研究室 特任助教 松嶋 達也 氏
AIRoAでのオープンなロボット基盤モデルプラットフォームの
開発の取り組み



Telexistence
共同創業者 & 取締役CTO / AIRoA 理事 佐野 元紀 氏
遠隔操作ロボットが拓く、Physical AIの実用化への展望

特別講演として、北海道電力の火力発電所における自動巡視点検ロボット、アステラス製薬のロボットとAIが切り拓く細胞医療製品の製造革新、Telexistenceの遠隔操作ロボットが拓くPhysical AIの実用化への展望、AIロボット協会(AIRoA)によるオープンなロボット基盤モデルプラットフォーム開発の取り組み等、国内最先端の事例や研究状況が共有された。

前回(2025年10月)開催実績

協賛講演



本イベントに協賛する5社(デロイト トーマツ グループ、PwCコンサルティング、FastLabel、ブリヂストン、ugo)からは、AI・ロボティクスの社会実装への挑戦やロボット基盤モデルへの取り組み、人とロボットが共生する未来の実現などについての講演が行われた。

前回(2025年10月)開催実績

ホワイエにて協賛社の展示

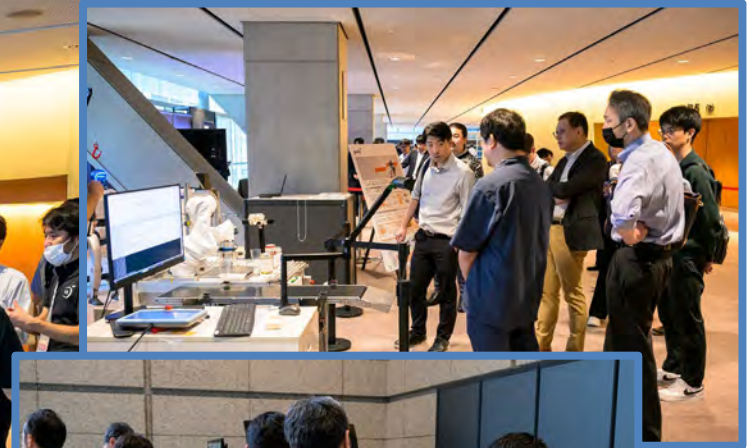


協賛5社は講演に加え会場を囲むホワイエでロボットやソリューションを展示した。

熱心に質問する参加者から、AI・ロボティクスへの関心の高さがうかがえた。

前回(2025年10月)開催実績

展示の様子



フォーラムに関する意見、感想(前回来場者アンケート)

- ・全体を通して大変興味深いセミナーでした。資料の配布があると嬉しいです。(抜粋でも可)
- ・ロボット中で使われているネットワークなどについて詳しくききたかった。
- ・勉強になりました。
- ・技術的な内容から活用事例の紹介など有り良かったです。
- ・技術主体の講演が良く大変参考になった。また、講演者の選択も大変良かった。
- ・デロイトトーマツのプレゼンが大変ためになった。
- ・様々な企業を確認できてよかった。机がほしかった。メモが書きづらい
- ・質疑もあった方が良かったと思う。
- ・とても興味深くて面白かった。昼食や展示を見る時間が少なかったなのでその時間もあると良かったです。
- ・ロボティクスの現状がよくわかるコンテンツでした。
- ・オンライン配信もしてほしい
- ・様々な観点の講演があり勉強になりました。質疑応答の時間もあるとよいかと思いました。

今後取り上げてほしいテーマや課題(前回来場者アンケート)

- ・再生エネルギー(太陽光、水素製造 etc.)
- ・センサー、アクチュエーター等のロボットに使われるキー部品の技術動向
- ・大学関係者によるAI、Physical AI関連の技術および研究事例の紹介があれば参加したいと思います。
- ・カメラ、LIDAR、レーザスキャナ等のセンシングデバイス関連
- ・今後も同じテーマで開催してください。
- ・自動運転、自律走行、SLAM
- ・ハードに特化したセミナーを開催していただきたい。
- ・ロボットに使われるカメラ、センサー、アクチュエータ
- ・ロボット開発環境
- ・同テーマを継続してください。
- ・低消費なエッジAIを開発しているテーマを上げてほしい。
- ・AIロボティクス続編
- ・主要なデバイス動向
- ・農業×ロボット
- ・日本のヒューマノイドロボット開発動向や、実証に向けた取り組みについて知りたいです。(ハンド等も含み)

【お申込み・お問い合わせ先】
日経BP
アカウントビジネス部
担当:根岸
negishi@nikkeibp.co.jp